

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画段階環境配慮書に関する市長意見

- 1 ルート等の選定結果によっては、周辺環境に大きな影響を及ぼすことも考えられることから、可能な限り早期の段階でルート等の具体的な内容を広く市民に示すとともに、その選定過程や選定にあたって考慮した環境配慮の内容について、今後の環境影響評価手続きの中で明らかにすること。
- 2 駅部及び地下トンネル部においては、長大な構造物や土留め壁の建設等に伴い地下水位の低下が発生し、地盤沈下への影響が懸念されることから、構造物の深さの検討及び工事計画の策定にあたっては、その影響の回避、低減に配慮すること。
- 3 工事の実施により大量の建設残土及び建設廃棄物の発生が想定されることから、これらの適正処理はもとより、構造物の規模の検討及び工事計画の策定にあたって、発生抑制、再利用、再資源化の方策を検討し、最終処分量の低減に配慮すること。